

# 事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度
------	-------	--------	--------

所属・担当者氏名	環境建設部 環境衛生課 環境衛生係 手塚貴子	評価責任者 (担当課長)	環境衛生課長 石田 寛
----------	------------------------	-----------------	-------------

## 1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	環境衛生事業(自然観察)	② 整理番号	04010103-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	安心・安全の美しいまちづくり	
	節	生活環境の整備・充実	
	項	都市環境の保全・美化の推進	
	号	環境教育の充実	
④ 関連する個別計画	なし	⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	なし		

## 2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	身近な生き物の観察を通して環境問題を身近なものとして認識してもらうとともに、自然保護や環境保全意識の向上を図る。
② 対象 (誰・何を対象として)	小学生とその保護者
③ 手段 (どのようなやり方で)	講師を招き、高田川・太田川において生き物観察を行う。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	本市の将来を担う小学生及びその保護者の自然保護や環境保全意識の向上。

## 3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円,人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費	0	30	0	0	(予算) 23
② 概算人件費	(0.00) 0	(0.02) 170	(0.01) 59	(0.00) 0	
(関与比率) 一般職員		(0.02) 170	(0.01) 59	(0.00) 0	
(関与比率) 嘱託職員					
(関与比率) 臨時職員					
③ 合計(① + ②)	0	200	59	0	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					(当初予算)
⑤ 一般財源(③ - ④)	0	200	59	0	

#### 4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 開催回数(回数)		0回	1回	0回	0回
	②					
成果指標	① 参加人数		0名	11名	0名	0名
	②					
効率指標	① 参加者1人当たりのコスト	直接事業費/参加者数	0円	2,727円	0円	0円
	② 参加者1人当たりのコスト	一般財源/参加者数	0円	18,182円	0円	0円

#### 5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	現在の中心層である親世代と未来を担う層である子どもが一緒に環境問題についてより身近に考えてもらうきっかけとなる。環境問題の解決は、一人一人が考え、行動していかなければ出来ないものであるため、市が主導して本事業を行い、市民の意識向上を図ることは妥当である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	C	平成30年度リバーウォッチングは、市立図書館が独自事業で開催された。環境衛生課でも永年、行ってきた事業であり、実施を計画していたが、内容が重複するため、中止した。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	専門家を講師として招き、自然観察を行っているが、その補助や参加者の募集手続きなどは、職員で行うことで、事業費の抑制を図っており、これ以上のコスト削減は難しい。

#### 6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)
B	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input checked="" type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他  自然保護や環境保全意識の向上を図るため、リバーウォッチングや野鳥とセミの観察などを計画してきたが、参加者がおらず、中止になった年もあった。今後は、魅力のある自然観察活動を計画するとともに効果的な周知方法についても検討していく。

#### 7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)